

平成 29 年度 第 1 回 砂川市総合戦略推進委員会

○委員

団体名	役職	氏名	備考
砂川商工会議所	会 頭	其田 勝則	
砂川市町内会連合会	副会長	岡本 昌昭	
新砂川農業協同組合	専務理事	佐々木 孝一	
砂川観光協会	会 長	石家 裕二	
砂川金融協会	北洋銀行砂川支店 支店長	川原 朋直	
砂川建設協会	会 長	三土 壽廣	
砂川市校長会	会 長（石山中学校校長）	土屋 政希	
砂川青年会議所	理事長	池内 一也	
砂川地区連合会	会 長	伊藤 達寛	

○市役所

総務部長	熊 崎 一 弘
市民部長	中 村 一 久
経済部長	福 士 勇 治
建設部長	湯 浅 克 己
教育次長	河 原 希 之
市立病院事務局長	氏 家 実

○事務局

総務部政策調整課長	井 上 守
総務部政策調整課長補佐	谷 口 昭 博
総務部政策調整課企画調整係長	谷 地 雄 樹

## 1 開 会

## 2 委嘱書交付

市長より団体代表者の交代があった2名に委嘱書を交付。

## 3 挨拶

市長： 本日は大変お忙しい中、平成29年度第1回砂川市総合戦略推進委員会にお集まり頂き、本当にありがとうございます。早いもので、地方創生と言われて5年計画のうちの2年が経過いたしまして、昨年28年度には、子育て支援と子育て支援の少子化対策にかかる施策等に力を入れまして、経常的な経費で毎年4,500万ずつ支出するというので、毎年出していかなければならないものでありますが、何とかこの財政に見合う、少子化対策、定住化対策をしていかなければならないのかな、というふうに思っておりますけれども、少子化対策として、市立病院の中に病児・病後児保育を実施しまして、お母さんたちに大変好評でございます。安心して子育てできるようにという必要があることを感じておりますし、また、昨年度財務省の官舎を払い下げを受けまして、国の補助金と過疎債を活用して改修しまして、砂川に移住してもらうための住宅を整備したところ、4世帯、9名の入居がありまして、人口減少に少し歯止めがかけられたのかなと考えています。それらを検証しながら、今後どうしていくのかということでございますけれども、砂川市内のアパートについては、(家賃が)高いものですから、公営住宅に入れにくい収入があって、民間アパートがなかなか無い、というようところが砂川の弱点でございまして、単身のアパートならあるんですけども、これも市立病院の看護師が600人くらいいて、看護師は公務員なものですから入れるけれども、一般の人が入れない、そういう人は滝川市に行ってしまう状況です。滝川は、アパートが余っていて、砂川は2万円くらいの差がついていまして、どうしても砂川では難しいということが出てくる所もあり、何とか解決していかなければならないと考えています。わざわざ他から人を引っ張ってくるわけではないです。砂川で暮らしたい人が砂川にいれないのが砂川の現状なのではないかと考えています。私の考え方は、こういうふうに長期的に少子化対策にお金を出す他に、砂川のまちを整備してあげれば良いのかとも考えています。ひとつは市立病院だったり、交流センターゆうのように、みんなが使いやすい、市民に喜ばれる施設を整備するとか、平成32年までに、市役所の建て替えが、平成33年3月31日までに完成して交付税で手当てされるとか、3月までには新しい市役所が完成している。それに合わせて国道12号線の北3丁目から南3丁目の電柱が地中化になる。それに合わせた形でまちの景観も色々変えていきたいと。見た目も大切に、まちの景観をハードものですが整備していきながら、少子化と定住化と、そういうのを合わせていかなければ、なかなか人が減っていくことに効果が

あるものは難しいんだろうと。人口減少も厳しいですけども、厳しい厳しいと言って、何もしないでいると、どんどん人口が減っていってしまう。幸いにも砂川市、財政的には、私が15年をかけて健全化の方向に持っていきましましたので、空知の中では、良い方であるし、公共事業も確保しているところです。

今回の委員会では、28年度の事業の検証をしていただけるということで、それらの中から、次につながる効果のある、ものが見方が出てくると幸いと思っております。

どうぞよろしく願いをいたします。

**事務局：** 市長につきましては、公務のため、ここにて退席をいたします。

**市長：** どうぞ、よろしく願いいたします。

**事務局：** それでは、会議に入りたいと思いますが、会議につきましては、委員長のお手元で進行をお願いしたいと思っております。委員長におかれましては、委員長席へご移動をお願いいたします。

(委員長、座席移動)

報告事項以降の次第に入ります前に、委員長よりご挨拶を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。

**委員長：** はい。今年3月に28年度、今回は29年度の第1回ということで、平成27年度の1月に策定されました総合戦略ですが、市長も先ほど言われていましたように2年近く経過して、検証という形の大事な作業があるということでございまして、とかく総合計画みたいなそういう戦略ができてしまうとそれで終わりなのかというように思ってしまうところがあるのですが、策定にあたってそれぞれの立場で携わって頂きましたので、その後それがどのような形で推進していったかというのを、いろんな立場の方が検証するこの推進委員会が大事な位置づけだと思います。今回は28年度の実績について検証して参りますので、説明等をお聞き頂きながら、今後に向けてどういう形で進んでいくかという所を、皆さんと共に考えていきたいと思っております。よろしくご審議の程をお願いいたします。以上です。

**事務局：** ありがとうございます。それでは、進行についてよろしく願いいたします。

**委員長：** はい。それでは、次第に従いまして進めて参りたいと思っております。

まず、4番目の報告事項です。「平成29年度地方創生推進交付金申請事業について」の経過報告がございまして、事務局の方から説明願います。

## 4 報告事項

### 平成29年度地方創生推進交付金申請事業について

事務局： 私の方から報告事項の説明をさせて頂きたいと思います。

それでは報告事項ということで、平成29年度地方創生推進交付金事業の部分につきまして、資料1をご覧ください。

地方創生推進交付金の交付対象事業一覧というものがございます。こちらにつきましては、今年の3月29日に、前回開催しました委員会の中で、平成29年度の第1回目の地方創生推進交付金に対して申請しておりました、「ワークライフバランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業」、「ふるさと名物『すながわスイーツ』を活用した観光振興事業」、この2事業につきまして、交付金の採択を受けるに当たり、必要となる地域再生計画について、4月6日に認定申請を行っております。そして、5月2日に交付金対象となる内示ということで資料1の中ほどにございますが、こちらの2事業とも採択になったと内示がありまして、5月11日に交付金の申請を行いました。そして5月30日に地域再生計画が認定となりまして、翌31日に推進交付金が決定となっております。

経過については以上でございます。

委員長： はい。ただいま説明にありましたように3月に委員会を開催し、申請を行い予定通り採択になったということでございます。

これについて、何かご質問、確認したいことはございますか。

各委員： (特に発言なし)

委員長： 無いようですので、それでは、報告としてご確認いただければと思います。

次に5番目の協議事項に入らせて頂きます。まず(1)砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標及び重要業績評価指標(KPI)についての検証でございます。

1つ1つア、イ、ウ、エそれぞれ1個ずつ協議をして頂きます。まず最初にアの基本目標1「安定した雇用を創出する」について、説明をお願いします。

## 5 協議事項

### (1)砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標及び重要業績評価指標(KPI)の検証について

#### ア 基本目標1 安定した雇用を創出する

事務局： それでは、基本目標1「安定した雇用を創出する」事業でございます。資料につきまして、資料2がございまして、こちらにつきましては総合戦略の全体像を表している図でございまして、砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の姿で、3本の柱立てがございまして、こちらに基づきまして、4つの基本目標がございまして、それらの4つの基本目標を実現するための施策がそれぞれ目標別に施策事業

ということでぶら下がっている格好になっております。こういった形で総合戦略が成立しているというイメージを持ちまして、この後の議論等に役立てて頂きたいという意味で、資料2としてつけさせて頂きました。資料3をご覧ください。こちら、総合戦略の数値目標、それからKPI、これ重要業績評価指標といいますが、これを集計した表でございます。基本目標1につきましては、創業支援事業に基づく新規創業件数と、新たな雇用者数この2つの項目を設定しておりまして、これらのうち平成28年度に基本目標を設定しているのは、創業支援事業に基づく新規創業件数ということでございまして、平成28年度の目標値1に対しまして、実績値4ということで目標値を達成している状況でございます。また、新たな雇用者数につきましては、平成29年度以降に実績が発生するものもございまして、実績はない状況でございます。その下、個別事業についてでございますが、まず平成28年度に個別事業の目標値を設定しているのは、(1)の3)、商店街空き店舗対策事業及び創業支援事業、それから(2)1)、担い手育成支援事業、農業後継者Uターン支援事業、介護人材育成支援事業、雇用創出事業、この6つの事業が目標値を設定しておりました。この6つのうち目標を達成したのは、(1)3) 商店街空き店舗対策事業及び創業支援事業でございまして、それから(2)1)、担い手育成支援事業及び農業後継者Uターン支援事業の4事業が平成28年度の目標値を達成した事業でございました。さらに、そのうち現時点で(1)3) 商店街空き店舗対策事業及び(2)1) 担い手育成支援事業、この2事業につきましては、平成31年度までの最終目標値を現時点で達成している状況でございます。また、(2)5) ICT人材育成支援事業につきましては、平成31年度までの最終目標値を達成している状況でございます。一方、(2)3) 介護人材育成支援事業につきましては、社会福祉法人に採用した介護職員が受講する際の介護職初任者研修というものがありまして、その経費を助成する事業なのですが、平成28年度につきましては、その法人の採用者が有資格者の社会人であったことと、新卒者の採用につきましては全て砂川高校の卒業生であり、砂川高校の支援事業の中に研修費用を補助するメニューがあったことから、介護人材育成支援事業の実績としては無かったという状況になっております。また、(4)の雇用創出事業につきましては、事業の周知等に努めてきましたが、残念ながら助成対象となる施設の新設等が無く、新たな雇用が生じることが無かったことから、実績値に及ばなかった状況にございました。次に(2)6) ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業でございます。この事業につきましては、以前ジョブスタート事業という事業がございましたが、3月の総合戦略の計画変更により、これを変更集約したものでございまして、この事業の本体については、平成29年度から事業が開始になることから、平成28年度の実績については、ジョブスタート事業として実績を掲載している形になってございます。私からの説明は以上でございます。

**委員長：** はい。ただ今、説明がございました基本目標1ということで、皆さんの方

から、ご意見、ご質問があれば出して頂きたいと思いますが、ございませんか。

各委員：(特に発言なし)

委員長： 特に無いようでございます。また最後の方に全体を通してお聞きしますの  
で、何かあればご発言頂きたいと思います。

委員長： それでは、次に基本目標2「新しいひとの流れをつくる」について説明を  
お願いします。

## イ 基本目標2「新しいひとの流れをつくる」

事務局： はい。それでは資料3をご覧ください。基本目標2「新しいひとの流れをつくる」ということございまして、砂川の転出超過者数と、観光入込客数の2項目のうち、平成28年度の単年度で基本目標の設定をしているものはございませんでした。転出の超過者数につきましては、前年度より若干減少し、状況が改善している状況でございます。また、観光入込客数につきましては、ハイウェイオアシス館と北海道子どもの国の入込客数が減少していることにより、平成27年度の実績から減少している状況にございました。それにぶら下がっている個別事業につきましては、平成28年度に個別事業の目標値を設定している(1)1)移住定住促進事業及び農業体験事業、(2)1)ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業のうち、平成28年度の地域資源活用事業の部分について、目標値を設定しておりました。そのうち、目標を達成したのは(1)1)移住定住促進事業と農業体験事業の2件でございました。一方、(2)1)ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業のうち、重要業績評価指標にふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数というものがございます。こちらは地域資源活用事業の指標でございまして、平成28年度の目標値900件に対しまして、874件と目標には及びませんでした。実績値につきましては目標値の97.1%に達しているため、一定の成果はあがっているかなと自負しているところでございます。なお(2)1)ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業につきましては、3月の総合戦略計画変更によりまして、地域資源活用事業及び着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業、これらを変更集約した事業でございまして、この2事業については平成29年度から廃止となります。それから、平成28年度の実績につきましては、地域資源活用事業及び着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業の実績として計上しております。さらに(3)1)砂川高校支援事業につきましては、高校の間口が3間口に削減されておりました。間口を確保することを目標とするために160人から120人に目標値を引き下げるといった変更を行う予定でございまして、私の方から説明は以上でございます。

**委員長：** はい。ただいま説明がございました基本目標2について、説明をしていただきました。何か皆様の方から、ご質問、ご意見ありますか。聞いてみたいところとかありませんか。

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** はい。それではないということですので、また後程お聞きしたいと思います。続いて基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」について説明をお願いします。

### **ウ 基本目標3「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」**

**事務局：** それでは資料3、3枚目をご覧ください。「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という資料でございます。基本目標につきましては、婚姻届出件数と、合計特殊出生率この2項目を設定しておりまして、それらのうち平成28年度に基本目標の目標値を設定しているのは、婚姻届出件数ということで、80件を目標値としていたところ、77件と目標値には及ばなかったものの、前年よりも改善しており、目標値の96.3%に達している状況にございました。また、合計特殊出生率につきましては、女性人口が減少している一方で、出生数が前年度と比較して8人増加しているために、平成27年度から若干改善している状況にございます。それらにぶら下がっている個別の事業につきまして、平成28年度に個別事業の目標値を設定している(2)1) 妊婦健康診査費用助成事業、特定不妊治療費助成事業、妊娠・出産支援事業、陣痛タクシー事業、2) 市立保育所開放事業、3) 子育て支援指定ごみ袋配布事業、インフルエンザ任意予防接種費用助成事業、この7件のうち、目標を達成したのは(2)1) 特定不妊治療費助成事業と陣痛タクシー事業、インフルエンザ任意予防接種費用助成事業の3件でございました。目標に及ばなかった4件のうち、(2)1) 妊娠出産支援事業及び子育て支援指定ごみ袋配布事業の2事業の実績につきましては、目標値の80%以上に達しておりまして、一定の成果が上がったものと考えております。

一方、目標に及ばなかった(2)2) 市立保育所開放事業につきましては、住民基本台帳人口における4歳以下の子が減少しているという要因も考えられますが、前年度より下回るという厳しい結果となっております。また、個別事業のうち、平成28年度単年度で目標設定はしていませんでしたが、現時点で(2)3) 幼稚園就園奨励事業については最終的な平成31年度までの目標値を達成している状況にございます。私の方からは以上でございます。

**委員長：** 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、これは非常に難しいですね。頭の数が少ないということで、青年会議所の皆さんも出会い事業とかされていましたね。基本目標3について何か皆さんからありましたら、伺いますが。

各委員：(特に発言なし)

委員長： はい。それではまたご意見があれば伺いたいと思います。それでは次に基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」についてご報告を願います。

## エ 基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」

事務局： はい、それでは4枚目の資料でございます。基本目標4「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する」という目標でございます。これの数値目標である民間住宅助成金交付件数及び移住定住促進住宅入居率という2つの項目のうち、平成28年度に基本目標値を設定しているのは、民間住宅助成金交付事業でございます。77件に対しまして92件ということで目標値を達成している状況でございます。また、移住定住促進住宅入居率につきましては、平成31年度まで入居率100%を達成している水準でございます。次に、それらを実現するための個別事業でございます。平成28年度に目標値を設定しているのは、(1) 1) 中空知医療圏ネットワークシステム構築事業、砂川市地域包括ケアネットワーク事業、2) 健康管理支援事業、3) 屋根雪下ろし等支援事業、除雪サービス事業、(2) 1) まちなか住まいる等住宅促進助成事業、永く住まいる住宅改修助成事業、住み替え支援事業、(3) 1) 中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業、これらの9つの件数のうち、目標値を達成しているのは6件でございます。また、目標値に及ばなかった3事業についても、そのうち(1) 2) 健康管理支援事業及び除雪サービス事業の2事業につきましては、実績値が目標値の80%以上を達成しておりまして、一定の成果は上がっているものという風に考えております。また、個別事業のうち、平成28年度単年度での目標値は設定しておりませんでした。また、(3) 1) 中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業につきましては、最終的な目標値を達成しております。そして(2) 1)、移住定住促進住宅整備事業につきましては、最終目標値を達成している数値でございます。

一方(1) 3) 屋根雪下ろし等支援事業につきましては、平成28年度は小雪が影響しまして、目標には及ばなかったところでございます。また(1) 1) 砂川市地域包括ケアネットワーク事業につきましては、平成28年度の事業実績が11,107件となっておりますが、それを踏まえ目標値の適正化を図るために年間1,000件、5年間で5,000件を目標値としていたところでございますが、平成28年度の目標値から年間の目標値を1万件としまして、5年間トータルで41,000件に増やす計画変更を行う予定にしております。私の方からは以上でございます。



**委員長：** この報告で、皆さんから何かご質問、ご意見等ございますか。

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** はい、無いようでございますので、全体を通してお伺いしたいと思います。  
何かございますか。

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** 無いようでございますので、全体総括を事務局からお願いします。

## **オ 全体総括について**

**事務局：** はい。それでは資料4をご覧ください。砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の平成28年度までの実績資料でございます。今程説明させていただきました、総合戦略数値目標KPIの集計表を整理したのが資料4になりまして、まとめとしましては、平成28年度に目標値を設定していた基本目標とそれらに掲げている個別事業の達成状況につきましては、基本目標については66.7%、個別事業については60.0%という低調な結果になりました。しかし、資料4の3の表にございますとおり、目標値には及びませんでした。しかし、ほぼ目標値に近い事業というのがその半分を占めておりました。また、総合戦略掲載全45事業のうち、平成28年度単年度の目標値は達成できなかったものの、20の個別事業の中にはⅡ-1にある通り、最終的な目標値を達成した事業が5事業、また2番目にあります通り、最終的な目標値を達成する水準にある事業が5事業あります。さらに、その3にあります通り、目標値に近づいている事業も4事業程ございます。このようなことから、一部の事業で実績が伸び悩んでいる事業が見られますが、全体としては一定の成果が上がっているというふうに考えているところでございます。

**委員長：** はい。数値を積み上げて評価すると、良いところにいるのではないのでしょうか。そうですね、実際に担当されている行政の方々に集計とかご覧になって、気が付いたり、何かございせんか。それぞれ部長さん方。われわれはパッと数字を見るだけですが、部長さん方は実際に関わっていることもありますので、そういうところから考えて、どうでしょうか。あると非常にキャッチボールしやすい。

**総務部長：** あの、私総合戦略作った時の担当者ということもあり、数値目標を定めながら事業をやっていきなさいという国からの指導もあって、各原課さんにもそれぞれ目標を立てましょうということで立てた経過がございます。で、目標値を立てながら事業が進んでいたんですけども、なかなかうちの内部の職員自体が、数値目標の立て方、後KPIといったこと自体十分承知していなかったということもあるんで

すよね。今回も何点か数字を変えさせていただきたいとありますけど、実際やってみてやはり捉え方が違う部分があって、後退するような定め方はだめだよねというのがあって、前向きに変えるような定め方は良いのではないかというのがあって、ずっと2年間通してやっているのですが、やはり1年間では答えが出ない部分が非常に大きいです。言い訳がましいですけど、今後数字がどんどん伸びてくるのではないかという楽観的な気持ちと、この2年間でなかなか動いていないからこういう成績になったのではないかという両方をそれぞれ担当者が持ち合わせて、この後どうやっていこうかと悩みのあるところではあるので、委員さんから、今出ているこれら事業がありますが、もし新しい感覚ですとか今の部分で改善する部分があれば、率直な意見を頂きたいです。全部が全部これに新たに乗せるかどうかは検討しないとならないですが、内部でも協議をしたいですし、委員さんからの意見については率直に受け止めながら、内部協議をしていきたい思いで今回出ているので、確固としたものが無い中で進んでいるということをご理解いただきたいなと思っております。

**委員長：** ええ、非常に難しい課題に取り組んでいることだと思いますし分かります。先程言われたように、周りから見ても変えられるものは変えていくことができるのではないかと、それならみんな意見が出るのではないかと、それを協議するのがこの場であるわけですし、委員の皆さんからも何かご意見があれば出して頂きたい。いかがでしょうか。

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** まだ2年ですからね。平成31年度まで後3年あるわけですから、今後どういう整理をしていくかというのはあるんですけど、ただ役所側と委員側と、お互いに出していかないと、分からないこととかあると思うので。

**委員：** あの、それぞれ今、年数がたつごとに色々な考え方がありますから、それも考えて、例えば、商店街の空き店舗対策事業、これは空き店舗が埋まったのが書いてありますが、これからどんどん空いていくのはどうするのか、これはここには挙げられていないですよ。それから、例えば創業支援は良いんですけども、例えば農業には担い手育成支援事業がありますが、商店街には例えば後継者等育成支援事業だとか、跡取りがいない場合はどうするんだとか、そういうのが無いんですけども、まあ数字では埋められるんですけど、空いたところに入れば1件ですから、ですけども、これから我々商店街の立場から言うと、3年から5年でみんなやめてしまうかというような話もあるので、その辺を踏まえた施策を持っていかないとならない。数値だけは達成したけど、それ以上に悲惨な結果になってしまう。

それから、話は違いますが、農協さんが25日頃開店しましたが、それまで人通り

が悲惨な状況になっていました。それは商工に言ってその時の数値は商工でまとめているんですけどね、ですから、あそこに大型店があるということが、無いことによってはですね、人通りの減る商店街とかになるということは今回、本当に分かりました。いろんな数字に出てですね、人が出てきていないというさみしい状況にありましたので、やはり変えていくところは変えていく、それから良い方ばかりではなくて悪い方もつけていくのも、やはり今後の戦略的にはやっていかないと難しいのではないかと捉えています。

**委員長：** はい。ありがとうございます。そうですね、良いも悪いも両方検証していかないと、片方だけということにもならないと思いますので、大事な指摘だと思います。他に皆さんから何かございますか。

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** はい、それでは今後こんな形で会議等も進めていくことになるんだろうなと考えております。この事業に関してこうなりました、それに対してどうなりますかというようなところで、もう少しこうしたらどうかなど発展的に変えられるところは変えていくし、こうしたら良いのではないですかということが皆さんの団体の中でありましたら、ご意見を頂きたいと思っております。それでは、全体総括については意見が無いようなので、よろしいでしょうか。それでは最後のその他に入りたいと思います。まず事務局の方から。

## 6 その他

**事務局：** 今後の委員会ですが、総合戦略の変更につきまして、今程説明をさせていただきましたが、今後さらに追加する事業が発生したとか、あるいは事業を見直すとか、大きな計画変更がある場合、またもう1回委員会を開かせていただきたいと思いますし、任期につきましては来年の3月31日までというふうになってございます。それから、今般採択となりました、地方創生推進交付金ですが、これも継続事業としての採択ではないので、毎年毎年申請しなければならない事業であるということで、第三者の検証もしたうえでいかなければならないということもございまして、そのためにこの委員会を開催させていただくと。日程的な部分については、内部で検討した上で改めて委員さんにも日程調整をさせていただきながら、委員会を開催していきたいと考えております。事務局からは以上です。

**委員長：** はい。ありがとうございます。最後の問いかけですが、皆さんから何かございますか。

**各委員：** (特に発言なし)

**委員長：** はい、無ければ次回の開催の際に皆さんのご意見を出して頂きたいと思  
います。それではこれで第1回砂川市総合戦略推進委員会を終了したいと思います。  
どうもありがとうございました。

16：10 終了